

外国人、外国ルーツの方と地域の健康を考える～こどもから高齢者まで～

静岡県に住む外国人は増えています。65歳以上の外国人も増えています。地域に住む外国の方が、必要な介護や福祉、医療につながることは、大切なことです。ことばや習慣、文化、宗教、経済、制度の違いがあります。また、長く日本で暮らしている、日本での暮らしが短い、学んでいる、働いている、結婚した、子供がいる、夫婦2人になった、一人暮らしになったなどの外国人がいます。

外国人の健康は、地域における外国人の暮らしやライフサイクルと関係がありそうです。やさしい医療・福祉、やさしい社会が鍵となりそうです。外国にルーツのある方々が介護・福祉、保健・医療の専門職になりはじめています。外国人高齢者の介護予防教室を行う外国人の団体があります。また、地域のこどもの健康を考え活動する外国人にルーツをもつ方がいます。地域の健康は、相互にケアする、ケアを作りだしていく、地域づくりが大切になりそうです。

今回は、外国人を含めた地域の健康や暮らしに関して、外国の方を含めた地域の皆様と共に考え、話し合う機会となればと思います。同じ地域に住む皆様のご参加をお待ちしています。

協力:静岡市地域福祉共生センター「みなくる」

□■日 時■□ 2025年12月14日(日)13:30~15:00

□■会 場■□ 静岡市地域福祉共生センター

「みなくる」第2会議室(南部図書館2階)

住所:静岡市駿河区南八幡町3番1号

https://www.city.shizuoka.lg.jp/074_000

□■内容■□

1-1. 日本に住む外国人はどこでなくなっている?

静岡県立大学看護学部 植田春美

1-2. 日本に住む外国人の医療アクセスは?

静岡県立大学看護学部 渡辺光咲 鈴木郁美

2. 地域に住む外国人が受診や入院する病院

岡崎市民病院 看護師 竹内真乃

3. あそぼう!はなそう!こどもたちの居場所づくり

-外国にルーツをもつ高校生の活動-

静岡県立静岡城北高等学校 宮津香梨

4. 質疑+話し合い

□■外国人、外国ルーツの方と地域の健康を考える

研究メンバー■□ 静岡県立大学看護学部 前野真由美、鈴木郁美、植田春美、長谷部美紀、国際関係学部 高畠幸、宮崎晋生、鈴木さやか、経営情報学部 上野雄史、短期大学部社会福祉学科 安瓊伊、歯科衛生学科 中村和美、静岡市駿河区小鹿豊田地域包括支援センター 岩崎圭介、菊川シール工業株式会社健康管理室 原華代、常葉大学 堀内アリッセ泉、東豊田地区民生委員 堀田康雄、インドネシア通訳・翻訳 エフィ グスティ ワフユニ、えのもと 循環器科・内科 榎本信雄 静岡の未来を拓く会 寺谷正博

□■対 象■□ 地域の皆様。保健・医療・介護・福祉に携わる方、外国人、医療通訳経験者、外国人医療に関心のある方、教育関係の方など。

□■参加無料■□

□■お申込み・お問合せ■□

下記の E-mail にて、お申し込みください。

「お名前」と「連絡先」を教えてください。

maeno@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡県立大学看護学部 講師 前野真由美

7言語 在住外国人の終末期(もしものとき、エンディング)ケア「みせてお話し」ノートは、こちらよりダウンロードできます。↓大学 HPです。



-新型コロナウイルス感染症拡大防止対策-9言語の健康チェック表は、こちらよりダウンロードできます。↓大学 HPです。

